

土砂災害から身を守るために

この地図は、皆さんが住んでいる地域で土砂災害が発生した場合に、被害を受けるおそれがある区域を示し、皆さんが避難する際に適切な行動をとっていただくことを目的に作成しています。

■土砂災害の種類

土砂災害には、がけ崩れ、土石流、地すべりの3種類があります。
佐倉市の土砂災害では「**がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）**」の危険性があります。

○がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）とは・・・？

集中豪雨や地震などにより地盤が緩み、抵抗力の低下や浮石の抜け出しが生じて瞬時に斜面が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。**突発的に起こり、崩れ落ちるスピードが速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合が高い特徴があります。**勾配の急な斜面や、水の集まりやすい斜面は注意が必要です。特に、過去にがけ崩れのあった斜面の周囲は要注意となります。

■土砂災害（特別）警戒区域とは？

土砂災害防止法（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）に基づき県が指定した、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

*現在、土砂災害警戒区域の指定が完了していない箇所もありますので、今後、指定が予定されている土砂災害危険箇所（急傾斜地）かどうか確認してください。

土砂災害警戒区域
(住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域)

土砂災害特別警戒区域
(建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがある区域)



■土砂災害の予兆・前兆現象

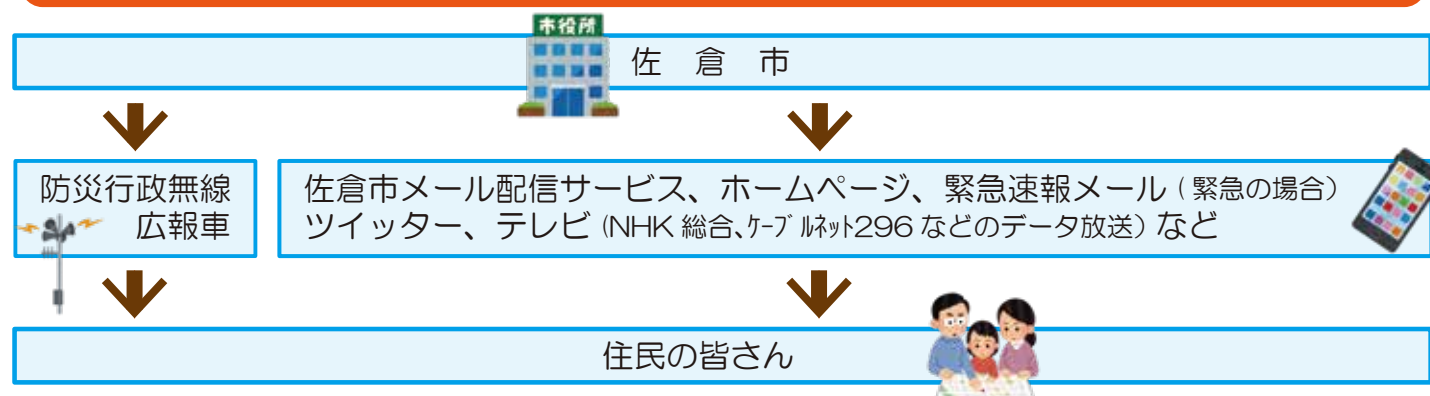
がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

- ・がけから水が吹き出す。
- ・がけからの水が濁る。
- ・がけに亀裂が入る。
- ・小石がパラパラと落ちてくる。
- ・がけから音がする。

避難!!



■情報の伝達方法



●佐倉市防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送が聞きづらかった場合に、電話で放送内容を確認できます。

☎ 0120-711-508（フリーダイヤル）

●佐倉市メール配信サービス

防災行政無線の内容を携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、情報配信するものです。

〔登録方法〕空メールを送信する⇒ sakura@emp.ikkr.jp
返信されるメールの登録操作手順に沿って手続きを行ってください。

※メールの受信制限をされている方は、sakuramail@ikkr.jpからのメールを受信できるようにしてください



●大雨のときには、土砂災害警戒情報に注意

大雨による**土砂災害発生**の危険度が高まったときに、千葉県と銚子地方気象台が共同で「**土砂災害警戒情報**」を発表します。この情報は、テレビ・ラジオや防災無線のほか、気象庁ホームページ、千葉県土砂災害警戒情報システムでも確認できます。

- 土砂災害警戒情報（気象庁ホームページ）
<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 土砂災害警戒判定メッシュ情報（気象庁ホームページ）
<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
- 千葉県土砂災害警戒情報システム（千葉県ホームページ）
<http://dosyabo.bousai.pref.chiba.lg.jp/>



■警戒レベルと避難のタイミング

警戒レベル4までに必ず避難！

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
早期注意情報 (気象庁が発表)	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁が発表)	危険な場所から 高齢者等は 避難	危険な場所から 全員避難	命の危険 直ちに 安全確保!
		高齢者等避難 (市が発令)	避難指示 (市が発令)	緊急安全確保 (市が発令)

※必ず発令されるものではありません

■避難行動の考え方

- ・避難する際は、他の土砂災害警戒区域等の急傾斜地や浸水のおそれがある区域を避ける。
- ・土砂災害の**予兆・前兆現象**を発見した場合は、自主避難するとともに、市にすぐに連絡する。
- ・避難は2人以上で、隣近所を誘って集団で行動する。
- ・豪雨などで、どうしても避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（例えば、がけから離れた部屋や2階）に避難する。

■避難先について

佐倉市では、災害時における避難所として、市内の小学校・中学校・高等学校・馬渡保育園の39箇所を指定しています。事前に近隣の避難所はどこか、裏面の地図で確認しておきましょう。また、指定避難所以外に土砂災害のおそれのない場所（親戚や友人の家等）も避難先となります。